

一般社団法人国際再生医療普及協会
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2022年9月2日（金）15：30～15：45

開催場所：千葉大亥鼻イノベーションプラザ 1階/web

	摘要	氏名	出欠	利益相反	
				医療機関	委員会 設置者
1	分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家	石井 伊都子	×		
		鈴木 邦子	○	無	無
2	再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	齋藤 康 ※委員長	○	無	無
		落谷 孝広	×		
		寺井 崇二	×		
3	臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）	中林 正雄	○	無	無
		竹本 稔 ※技術専門員	○	無	無
		佐野 明彦	×		
4	細胞培養加工に関する識見を有する者	木田 泰之	○	無	無
5	医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	中村 智広	×		
6	生命倫理に関する識見を有する者	川上 祐美	○	無	無
7	生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	林 邦彦	×		
8	前7号に掲げる者以外の一般の立場の者	宮内 明子	×		
		中山 ちはる	○	無	無

配付資料（事務局初回受領年月日；2022年7月26日）

資料1 別紙様式第三_定期報告（2022年8月16日）

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

議題：「動脈硬化の進展予防を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞治療」の提供計画における定期報告について

結果：「適」

医療法人社団みき会サンフィールドクリニック中川医師により、本件について概要の説明が行われた。

1例の重篤な症例（転帰死亡）の疾病等報告があったが、必要な提供計画の変更が行われ、安全性重視の姿勢を確認しており治療継続に問題はないと判断した。

CAVI、頸動脈エコー、LHスコアにおいて細胞治療の効果がほぼ認められているが、一部効果が得られない症例がある。本件について現時点では解析可能な症例数が得られていないが、継続して症例検討を行うよう委員会から要望があり、クリニック側も同じく考えているとコメントがあった。

審議の結果、本提供計画を継続して行うことに問題ないとの結論で、参加委員全員の意見が一致した。

よって、委員全員の同意をもって「適」とすることが採択された。

以上